

研修手帳の記入について

1 実践現場における学習の記載について

実践現場における学習は、総論的な課題と各論的な課題に分けて記載することとなっています。記載においては、課題分類などは選択式になっています。

記載上で問題が散見されるのは、「内容欄」ですので、以下の注意点に留意して記載してください。

- 経験した事例がイメージできる程度の記載は必要です。
- 経験した事例、学んだ内容が具体的にわかるように記載すると同時にできるだけ簡潔に記載することが望まれます。要領よく記載することも必要なスキルと考えられるためです。
- 必ずしも、PDCA に沿って記載する必要はありませんが、経験した課題が具体的にわかるように記載することが求められます。
- 業務として行った項目をあげるのではなく、業務の中で経験した事例を記載してください。
- 同じ内容の業務や活動を複数記載する必要はなく、まとめて記載してください。日付が異なる場合は、開始日を記載し、計何回行ったかなどを内容欄に記載するなどの工夫をしてください。
- 課題名と内容が呼応していることは必要です。また、一つの事例で複数の課題の経験とすることはできますが、内容は同じとするのではなく課題名と対応するように記載内容を工夫してください。

適切な記載例

実践現場における学習 総論的な課題

内容欄記入例	注意点など
法律上の医療機関(診療所)である保健管理センターの医療機関管理者として、保健所等から周知される医療安全情報の所内への周知への課題を認識した。そこで従来行われていなかった月1回の職員ミーティングを開始し、必要な医療安全情報を共有できる医療安全管理体制を構築した。	行われた活動がイメージできる程度の内容が記載されている
圏域における、様々な医療機関のがん診療の実績や専門医数、手術件数、化学療法数、放射線治療実績などの情報を管理し、得られた情報を	活動が具体的に記載されている。

<p>もとに圏域におけるがん診療の拠点として最も優れた医療機関を抽出した。結果を地域がん診療病院として国へ推薦し、圏域におけるがん診療の提供体制の整備を行った。</p>	
<p>脳卒中の2つのゴールデンタイム①4.5時間(tPA)、②8時間(血管内治療)での治療等の調査を、県北中核病院の脳外科に依頼。費用対効果を概算し事業提案。市町村の1/2費用負担で事業化には至らず。今後は夜間のみ事業としてコストを抑制し再検討へ(#7119事業)</p>	<p>提案内容と活動が具体的に記載されている。</p>
<p>厚生労働省により平成29年12月に実施された「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の調査票作成段階から携わり、実施後の二次解析を行った。特にアドバンスケアプランニング(ACP)に焦点をおき、ACPの実施実態の年齢分布等を明らかとし、多変量解析手法を用いて分析した。</p>	<p>活動が具体的に記載されている。</p>
<p>専攻医が講師を務める〇〇病院の管理職研修会で、今年度は新しい試みとして専門職連携育成プログラムを取り入れた。新規事業実施にあたり、学生版のように時間を取れないため、プログラムの内容を一部短縮して、業務の合間にこなせるプログラムにして、実施している。 ※2019年6月終了予定</p>	<p>活動が具体的に記載されている。</p>
<p>管理職研修会の専門職連携教育は、前例がない試みであり、進行しながら参加者の理解度にあわせて適宜プログラムを調節していく必要があった。予定していたワークショップを実施したところ(実行)、次の課題まで踏み込んだ議論ができたため(分析)、その場で先の課題内容を前倒しし、時間を短縮できた(改善)。</p>	<p>前項と一連の活動であるが、PDCAに沿って記載されている。</p>
<p>世界禁煙デーに合わせて、ボランティアの募集や必要物品を準備し、健康増進課で協力し、通勤通学中の県民2000人程度を対象にキャンペーンを行った。また「〇〇〇〇応援事業」を行っている事業所でもキャンペーンに合わせ、呼びかけを行った。</p>	<p>実施したプロジェクトを簡潔かつ具体的に記載している。</p>
<p>業績評価シートに前期(4月~9月)・後期(10月~3月)に分けて、医療相談会に関すること・特定医療費助成制度新規申請に関すること・がん検診の技術的助言に関することに対して目標設定をおこなった。部長・主幹と面談を行い、事業の進行を管理し目標を達成することができた。</p>	<p>目標の設定と関係者との調整を行った活動であることが明示されている。</p>
<p>〇〇研究所で週1回開催される感染症発生動向調査委員会に出席し、感染症の発生動向を確認し、週報の作成に携わった。</p>	<p>委員会における専攻医の役割などが明示されている。</p>

<p>転勤等で同系列企業の他事業所間を移動する労働者の健診情報について、移動先事業所の産業保健スタッフへの医療・健康情報提供および紛失・漏洩防止の徹底について、情報管理について学んだ。</p>	<p>学んだ内容が具体的に示されている。</p>
--	--------------------------

各論的な課題

内容欄記入例	注意点など
<p>圏域内には大規模な鶏舎が多数あり、鳥インフルエンザのパンデミックを想定した、訓練が必要となる。医師、保健師、薬剤師、事務、防疫にあたる職員が集まり、災害時の各部署の具体的な動きをシミュレートした。また、防疫業務にあたる職員は防疫服やN95マスクを実際装着して訓練を行ったが、装着方法などに関してアドバイスをを行った。訓練を通じて、鳥インフルエンザパンデミック対策に関する経験をした。</p>	<p>行われた活動が具体的にイメージできるように記載されている</p>
<p>精神保健福祉法第 23 条通報による対応をおこなった。患者調査、家族調査、警察官からの聞き取りにより、精神症状によるものではないため、措置診察不要とした。受診勧奨（精神科主治医へ）おこなったが、応じなかった。</p>	<p>経験した事例が簡潔に記載されている。</p>
<p>地域の住民に対する市民公開講座”「〇〇〇〇」はどうしたいですか”の実施（約 2 時間程度）。参加者は 20 名程度で、50-70 歳代であった。私自身はメインスピーカーとして、アドバンスケアプランニングの紹介と、もしバナカードを用いて具体的な将来的な医療やケアに対する希望を共に考える機会の提供を行った。</p>	<p>提案内容と活動が具体的に記載されている。</p>
<p>管内で細菌性赤痢が幼稚園で発生した。積極的疫学調査を行い、園児4名、教諭1名の感染を確認した。聞き取り調査および薬剤耐性調査からモロッコからの輸入感染が幼稚園内で接触感染により広がったものと推定するに至った。あわせて、感染者および接触者の調査を行い、平成31年1月に収束を確認した。</p>	<p>業務において経験した事例が具体的に記載されている。</p>
<p>月 1 回実施されている安全衛生管理委員会に出席した。治療における誤投薬、造影剤検査実施後アレルギー反応の観察不足等のインシデントや病棟患者間違いに配薬後に気が付いた等のヒヤリハットに関して、リスクマネジメントの考え方に従い、再発防止策として、リスク回避・移転・低減・受容のどれが適切であるかを議論した。レポートでは採血後神経疼痛を扱い、病院の社会的使命や倫理、被害に対する補償のコスト、対策にかかる人的負担、対策によって期待される件数低減の観点</p>	<p>リスクマネジメント手法を用いた活動が具体的に記載されている。</p>

総合的に考えた。	
要素指導医が嘱託産業医として勤務している事業所で、要素指導医が行う産業医業務を見学した。ストレスチェックの結果や一般健康診断の結果をもとに産業医面談を行う場面に陪席した。ストレスチェックの結果が良くない従業員が集積している部署があり高ストレス者本人や部署長に面談していた。事業所の組織改革のあおりを受け、ストレスチェック実施時に最も負荷がかかっていたようで、面談時（2か月後）には改善傾向だった。個々の結果から集団の状況を判断するプロセスを学んだ。	見学を主体とした活動であるが、学んだ内容が具体的に記載されている。

不十分な記載例

総論的な課題

内容欄記入例	注意点など
予防接種に関する業務全般	経験した事例が不明。
心身障害者福祉センターにおける〇〇プログラム研修	経験した事例が不明。
オン・ザ・ジョブ・トレーニング	経験した事例が不明。
感染症対応（新型インフルエンザ、肝炎、予防接種、感染症指定医療機関、1～5類感染症）に関する医学的助言等	事例における役割、学んだことが不明。
口頭・文書により組織の内外と適切で潤滑な意思疎通を図る。 職業上の倫理規範を遵守している。	原則の記載であり、経験した事例が不明。
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な疫学知識の習得 ・所管する業務に関連した疫学的評価 ・学会等で業務に関連した演題の発表 	項目を列挙しているが、具体的でないため事例が不明。
抄読会などで疫学論文を扱い、使われている統計手法や対象などは適切かどうかを検討したり、自分の論文について、統計学を使って分析を行ったりした。	具体的でないため事例の内容が不明。
（プロセスマネジメント） 学童保育職員の結核発病に伴い、大規模な接触者健診を実施した	括弧内の課題名と内容が呼応していない。
（組織マネジメント）（プロジェクトマネジメント）（プロセスマネジメント）（疫学・統計学的アプローチ） 防ぎ得た院内急変を撲滅することを目的とした〇〇プロジェクト、急変時対応作業部会に参画し、システムの構築、プロモーション、組織に浸透させるための教育研修を主導。	括弧内の4つの課題に対して、同一の内容が記載されている。各課題名に呼応するように内容を具体的に記載する必要がある。

各論的な課題

内容欄記入例	注意点など
歯科保健の施策、制度等を理解した。	習得内容が不明。
成人・高齢者保健施策の現状、施策、法律、制度を理解した。	具体的内容が不明。
休職中職員について月 1 回カウンセラー介入および産業医面談実施。嘱託（月 1 回）の精神科医と共に精神相談に随時対応。	業務を示しているのみで内容が不明。
HIV・肝炎検査の実施	業務を示しているのみで内容が不明。
医療安全対策、院内感染防止対策、帳票・記録について、監視要項に基づき立入検査を行った。医療機関立入検査の範囲、方法、指導基準を学んだ。	具体的な記載ではないため、どのレベルまで学んだかが不明。
『〇〇協議会 〇〇調査』の調査データを用いて、医療・健康情報の管理を経験した。	行った作業内容が不明。
難病の継続申請書の内容確認	業務を示しているのみで内容が不明。
難病患者の相談会の見学 人工呼吸器関連講習会の参加	何を学んだかが不明。
災害時保健医療対策を理解し、説明できる	経験した事例、学んだ内容が不明。
第 3 回〇〇講習会	講習会で学んだ内容の記載は必要。
実際の〇〇業務の経験 〇〇所において問診担当医として勤務 〇〇感染症疑い患者の診察 海外での犬咬傷患者の対応	業務を示しているのみで経験した事例が不明。また、同一の記載が多数ある。

2 自己評価及び指導医コメントの記載について

自己評価は当該年度に研修計画と比較して、何が経験でき、何が足りなかったか、研修目標やコアコンピテンシーの達成状況を記載することを求めています。

また、指導医コメントでは、指導医から見て研修の取組状況、研修の進捗、スキルの習得状況についての指導的コメントの記載及び翌年度の研修計画の修正点等について記載することが望まれます。

- 経験した事例、活動もしくは学んだ内容の概要がイメージできる程度の記載は必要です。
- 行ってきた業務を挙げるだけでは十分ではありません。
- 指導医のコメントでは、全体を俯瞰して、研修できた内容を示すか、研修の進捗や到達レベルについて記載すること、また不十分であった研修項目や到達レベルに応じての研修計画の調整にも言及することが求められます。

適切な記載例

自己評価 進捗評価

内容欄記入例	注意点など
<p>総括的な課題：組織マネジメント、プロジェクトマネジメント、医療・健康情報の管理、保健・医療・福祉サービスの評価の重要性を検討し、労働衛生機関・産業医などの職務から情報収集し、経営側と解決に向けて努力した。</p> <p>各論的な課題：疾病・障がい者対策、環境衛生管理、健康危機管理について医学論文やインターネットソースなどから情報収集し、指導医とともに解決に向けて努力した。</p>	<p>総論的な課題、各論的な課題に分けており、課題内容、情報収集、対応について記載されている。</p>
<p>【総括的な課題】〇〇長として感染症の疫学的アプローチを含めた感染症対策、結核患者の服薬管理の見える化、地域医療構想会議の運営の他、がん診療情報の管理や医療監視も含めた〇〇長としての組織マネジメントを経験。</p> <p>【各論的な課題】肝がん対策の感染症対策、鳥インフルエンザのパンデミック対策、圏域内の小中学校における結核蔓延防止を目的とした学校保健活動に従事した。</p>	<p>総論的な課題、各論的な課題に分けており、経験した事例内容がわかるように記載されている。</p>
<p><総括的な課題></p> <p>昨年度より調査計画に基づき、小学校での調査を実施、データを収集し、中間結果をまとめ対象保護者への結果報告を行った。</p> <p>現在、解析の準備を行いながら、追跡調査中である。</p>	<p>事例に対して行ったこと、今後の計画について記載されている。</p>

不十分な記載例

自己評価 進捗評価

内容欄記入例	注意点など
<p>〇〇保健所での研修を基本とし、OJTとして業務に従事した。〇〇豪雨災害時には被災者の精神面への支援を行うところのケアチーム業務に従事した。〇〇市保健所において、母子保健業務等に従事した。</p>	<p>業務の列挙にとどまっており、具体的な経験内容、習得した内容が不明。</p>

<p>「行政・地域」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所で行っている感染症対策業務を学んだ。感染症法対象疾患に対しては、集団発生の予防対応策を学んだ。 ・医療機関立入検査、精神科実地指導の方法を学んだ。 ・介護認定の審査方法を学んだ。 ・研修で DHEAT としての知識を習得し、〇〇地震では DHEAT の一員として業務にあたった。 	<p>学んだ内容が具体的でないため、習得レベルが推測できない。</p>
<p><各論的課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民健診への参画、健康教育 ・大学生への公衆衛生教育 ・学校保健 ・成人・高齢者保健 ・感染症対策 など 	<p>項目の列挙であり、経験、習得内容が不明。</p>

適切な記載例

指導医コメント

内容欄記入例	注意点など
<p>当初計画した課題以外にも興味を示し、保健所の幅広い分野の実務に積極的に参画し、1年目としては概ね充実した研修を実施できたと評価する。</p> <p>総括的課題のうち、「組織マネジメント」と「プロジェクトマネジメント」については、〇〇科医としての臨床経験を生かして、本県における「医療的ケア児の支援体制の構築」に向けた新規事業の立ち上げにも積極的に関与し、担当課からも頼りにされる存在となっており、実務を通して貴重な経験ができてい</p>	<p>経験できた項目、内容に言及しており、評価時点で不足している経験についての研修計画の調整についても記載されている。</p>

<p>ると考える。</p> <p>副分野1【医療】については、病院立入検査や地域医療情報ネットワーク会議（保健所が事務局）等に参画できたが、2年目以降は研修連携施設（〇〇大学）での研修も経験できるように調整したい。</p> <p>副分野2【産業・環境】については、8月に産業保健研修を受講し産業医（日医認定）の資格を取得できたので、2年目は研修連携施設（〇〇病院）で産業医の実務や労働衛生コンサルタント業務を含めて研修できるよう調整したい。</p> <p>各論的課題の項目のうち、感染症対策や精神保健については外部研修（結核研究所研修の受講）や困難事例への対応の経験など、学びが大きかったと考える。2年目以降は各論的課題の研修項目の拡大を意識する必要がある。</p>	
<p>保健医療科学院での研修終了後、2018年8月1日よりセンター医監兼〇〇保健所長となる。その後保健所や県庁にて研修を行っており、規定のプログラム履修を遅滞なく行えている。今後は主分野に加えて副分野の履修を進めていく予定である。</p>	<p>プログラムの進捗について評価しており、翌年度の研修についても言及している。</p>

<p>着実に出来る分野から経験を積み、特に主分野である産業医学では相当程度の経験を出来たことが評価される。また、すでに研究発表も行っており今後のさらなる発展が期待される。一方で基本プログラムの受講がまだであり残り 2 年での確実な受講が期待される。</p>	<p>プログラムの進捗について評価しており、翌年度の研修についても言及している。</p>
<p>主分野の研修は主管する健康危機管理の業務を中心に 1 年目の研修で習得した基本的知識及び技能を応用し、実践現場での学習が行われた。今年度は第 91 回日本産業衛生学会への参加及び関連学会の第 77 回日本公衆衛生学会で発表した（筆頭演者）。副分野については不足の研修内容があり、連携施設や協力施設での学習、専門知識を獲得するため基本プログラムの履修については e-learning での受講など計画的に研修する必要がある。</p>	<p>経験できた項目、内容に言及しており、評価時点で不足している経験についての研修計画の調整についても記載されている。</p>
<p>2018 年度の基本プログラム研修は、「公衆衛生総論」を修了した。2019 年度末を目標に、関連学会における研修と E-learning で研修を行う。2018 年度の実践経験は、主分野を地域・行政として〇〇県がん検診精度管理(地域・行政)を、副分野 1 として産業衛生（産業・環境）を経験し、学術活動としては博士課程のテ</p>	<p>経験できた項目、内容に言及しており、評価時点で不足している経験についての研修計画の調整についても記載されている。</p>

<p>ーマについて順調に研究を実施している。</p> <p>社会医学系専門医の 3 年間の研修の初年度の研修として適格であったと考えている。</p> <p>2019 年度は、基本プログラム研修を早期に終了すること、副分野 2 の医療についての研修を進めるようスケジュール管理を行う。</p>	
---	--

不十分な記載例

指導医コメント

内容欄記入例	注意点など
「環境産業保健」について適切に研修が行われたと考えます。	到達レベルの評価などは必須である。
上記専攻医は熱心に文献収集を行い、原著論文の作成に励んでいる。	社会医学系専門医に求められる到達目標、コンピテンシーについて言及することが必要である。